

住友商事、IIJ、米ライコス社と共同でインターネット上の情報検索及び各種情報提供サービスを開始

1998年4月14日

住友商事株式会社
株式会社インターネット イニシアティブ

住友商事株式会社(社長:宮原賢次)、株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、社長:鈴木幸一、本社:東京都千代田区)は、米ライコス社(Lycos Inc.、本社:マサチューセッツ州、代表者:ロバート J・デイビス)と共同で、インターネット上の情報検索及び各種情報提供サービス事業を開始する。今月中に設立する新会社『ライコス・ジャパン株式会社』を通してサービスを行う。サービス名は『ライコス・パーソナル・インターネットガイド』で、サービス開始は5月中を予定。新会社の資本金は8億7,500万円。出資比率は下記の通り。

住友商事	50%
IIJ	10%
ライコス (米)	40%
合計	100%

新会社はWebサイトのレーティング(格付け)に基づく検索や音声・画像の検索機能等、使いやすく質の高い検索サービスをはじめとし、ニュース、スポーツ、旅行ガイド等の各種情報提供サービス、無料電子メール、チャット等のコミュニティーサービスを提供していく。新会社はWebサイト上にバナー広告を表示することで広告主から収入を得て、利用者には無料でサービスを提供する。また、インターネット上で電子商取引を行う事業者との連携を進め、ライコスのアクセスの多さを活かし、電子商取引の利用を促進する。利用者がライコス経由で商品を購入した場合の手数料も収入とする。初年度の収入は4億円を見込んでおり、2000年には40億円の収入を目指す。

サーチエンジンは検索機能以外に、ニュースや娯楽情報等、利用者にとって魅力のある情報の提供や、電子メール機能、チャット機能等を備え、インターネット上の総合オンラインサービスとして米国で急激に成長してい

る。国内においてもヤフー・ジャパンをはじめとする数社が既に検索及び情報提供サービスを展開しており、米国で十指に入るアクセス数を誇るライコスが参入することにより、インターネットによる情報サービス市場がより活性化すると予想される。

以上
